



◆平成 24 年度 全国学力・学習状況調査（通称：全国学力テスト）の結果について

○調査概要

- 1 調査期日：平成24年 4月17日（火）
- 2 対象学年：小学校第 6 学年、中学校第 3 学年
- 3 対象教科：国語、算数（数学）、理科
- 4 調査内容：国語と算数（数学）については、『知識』に関する問題『A 問題』と、『活用』に関する問題『B 問題』を出題。理科については、知識と活用を一体的に問う。
- 5 調査方法
  - (1) 抽出調査：文部科学省が全国抽出率約30%で各都道府県ごとの抽出校を設定。
  - (2) 希望利用調査：抽出校の対象とならなかった学校についても、設置管理者（市町村教育委員会）の判断により、調査の利用が可能。（大崎町は全小中学校実施）

≪抽出校による全国平均、県平均、本町平均≫ ※ 数字は正答率(%)

		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
小 6	全 国 平 均	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9
	県 平 均	81.2	54.8	74.0	58.3	63.4
	大 崎 町 平 均	78.2	56.4	74.2	53.8	61.3
中 3	全 国 平 均	75.1	63.3	62.1	49.3	51.0
	県 平 均	74.0	62.3	60.4	46.6	49.6
	大 崎 町 平 均	71.3	57.0	54.4	42.6	47.0

まびの窓おしえの庭 NO.10

我が家の家訓

大崎中学校 校長 橋野 博文

「あいさつと感謝の気持ちを大切に」が我が家の家訓です。あいさつについては「おはよう」「行ってきます」「行ってらっしゃい」「ただいま」「お帰り」「おやすみ」等、家族の中で言わなかったことはありません。また、「ありがとう」「いただきます」「ごちそうさま」等の感謝の言葉も必ず言うようにしています。特に子どもがしてくれたことに対しては、必ず「ありがとう」と言うことで感謝の意を伝えるようにしています。そうすることにより、子どもも友達等からしてもらったことに対して、自然と「ありがとう」と感謝の言葉を伝えられるようになると信じているからです。

私は子どもたちに『できる人』になって欲しいと常に思い、話をしています。『できる人』とは

- 1つ あいさつができる。      2つ 手伝いができる。      3つ 自分のことは黙ってできる。  
 4つ 物事を継続してできる。      5つ 思いやりを持てる。      6つ 感謝の言葉が言える。

上記の6つです。

この6つができるようになることが、人間としての基本だと思っています。そして今日一日を振り返って、今日はこんなことが楽しかった、こんなことを教えられた、こんなことができるようになった、ということなどを思い出すことにより、『できた自分』『感動した自分』『喜んだ自分』が日々積み重なり、『できる自分』『感動する自分』『感謝する自分』を作っていくと思います。各ご家庭でも『我が家の家訓』を決め、実行したらいかがでしょうか。



ものは試しに  
登録じゃ！



大崎在住者、大崎出身者、  
大崎ファンの方が次々と登録中！

